



**Unified  
Manager**データベースディレクトリにディス  
クスペースを追加する  
Active IQ Unified Manager

NetApp  
January 15, 2026

# 目次

Unified Managerデータベースディレクトリにディスクスペースを追加する .....	1
VMware仮想マシンのデータディスクにスペースを追加する .....	1
Linuxホストのデータディレクトリにスペースを追加する .....	2
Microsoft Windows サーバーの論理ドライブにスペースを追加する .....	4

# Unified Managerデータベースディレクトリにディスクスペースを追加する

Unified Manager データベースディレクトリには、ONTAP システムから収集された健全性とパフォーマンスのデータがすべて含まれています。状況によっては、データベースディレクトリのサイズの拡張が必要になることがあります。

たとえば、Unified Manager で多数のクラスタからデータを収集している場合、各クラスタに多数のノードがあると、データベースディレクトリがいっぱいになることがあります。データベースディレクトリの使用率が 90% の場合は警告イベントが生成され、ディレクトリの使用率が 95% の場合は重大イベントが生成されません。



ディレクトリの使用率が 95% に達すると、クラスタから追加のデータが収集されなくなります。

データディレクトリの容量を追加する手順は、Unified ManagerをVMware ESXiサーバ、Red Hat Linuxサーバ、Microsoft Windowsサーバのいずれで実行しているかによって異なります。

## VMware仮想マシンのデータディスクにスペースを追加する

Unified Manager データベースのデータディスクのスペースを増やす必要がある場合は、インストール後に Unified Manager のメンテナンスコンソールを使用してディスクスペースを増やして容量を追加できます。

開始する前に

- vSphere Client へのアクセス権が必要です。
- 仮想マシンにスナップショットがローカルに格納されていないことが必要です。
- メンテナンスユーザのクレデンシャルが必要です。

仮想ディスクのサイズを拡張する前に仮想マシンをバックアップすることをお勧めします。

手順

1. vSphere Client で、Unified Manager 仮想マシンを選択し、データ「ディスク 3」にディスク容量を追加します。詳細については、VMware のドキュメントを参照してください。

Unified Manager の導入で、「ハードディスク 3」ではなく「ハードディスク 2」が使用されることがあります。これが導入環境で発生した場合は、ディスクのサイズを大きくします。データディスクには、常に他のディスクよりも多くの容量があります。

2. vSphere Client で、Unified Manager 仮想マシンを選択し、\* Console \* タブを選択します。
3. コンソールウィンドウ内をクリックし、ユーザ名とパスワードを使用してメンテナンスコンソールにログインします。
4. \* メインメニュー \* で、\* システム構成 \* オプションの番号を入力します。
5. システム構成メニュー \* で、[ データディスクサイズの増加 ] オプションの数値を入力します。

# Linuxホストのデータディレクトリにスペースを追加する

Linux ホストを最初にセットアップした時点で Unified Manager をサポートするために「/opt/netapp/data」ディレクトリに十分なディスクスペースを割り当てていなかった場合は、インストール後に「/opt/netapp/data」ディレクトリのディスクスペースを増やしてディスクスペースを追加できます。

開始する前に

Unified ManagerがインストールされているRed Hat Enterprise Linuxマシンへのrootユーザアクセスが必要です。

データディレクトリのサイズを拡張する前に Unified Manager データベースをバックアップすることを推奨します。

手順

1. ディスクスペースを追加する Linux マシンに root ユーザとしてログインします。
2. Unified Manager サービスと関連する MySQL ソフトウェアを次の順序で停止します。`ytemctl stop ocieau ociemysqld`
3. 現在のディレクトリ '/opt/NetApp/data' にデータを格納できる十分なディスク・スペースを持つ一時的なバックアップ・フォルダ（例：'/backup-data'）を作成します
4. 既存の「/opt/NetApp/data」ディレクトリの内容と権限の設定をバックアップ・データ・ディレクトリにコピーします。

「`cp -arp /opt/NetApp/data/*/backup-data`」と入力します

5. SE Linux が有効になっている場合：

- a. 既存の「/opt/NetApp/data」フォルダにあるフォルダの SE Linux タイプを取得します。

```
se_type=`ls -Z /opt/netapp/data | awk '{print $4}' | awk -F: '{print $3}' | head -1
```

次のような情報が返されます。

```
echo $se_type
mysqld_db_t
```

- a. バックアップ・ディレクトリの SE Linux タイプを設定するには 'chcon' コマンドを実行します

```
chcon-R --type=mysqld_db_t/backup-data
```

6. /opt/NetApp/data ディレクトリの内容を削除します。

- a. 「`cd /opt/NetApp/data`」と入力します
- b. 「`rm -rf *`」と入力します

7. LVM コマンドを使用するかディスクを追加して '/opt/NetApp/data' ディレクトリのサイズを 150 GB 以上に拡張します



ディスクから「/opt/NetApp/data」を作成した場合は、「/opt/NetApp/data」を NFS 共有または CIFS 共有としてマウントしないでください。この場合、ディスク領域を拡張しようとすると、「re size」や「extend」などの一部の LVM コマンドが期待どおりに動作しないことがあります。

8. '/opt/NetApp/data' ディレクトリ所有者（mysql）とグループ（root）が変更されていないことを確認します

「ls -ltr/opt/NetApp/|grep data」を入力します

次のような情報が返されます。

```
drwxr-xr-x. 17 mysql root 4096 Aug 28 13:08 data
```

9. SE Linux が有効になっている場合は '/opt/NetApp/data' ディレクトリのコンテキストが mysql\_d\_b\_t に設定されたままであることを確認します

- a. 「/opt/NetApp/data/abc」と入力します
- b. 「ls -Z /opt/NetApp/data/abc」と入力します

次のような情報が返されます。

```
-rw-r--r--. root root unconfined_u:object_r:mysql_d_b_t:s0  
/opt/netapp/data/abc
```

10. ファイル「abc」を削除して、この余分なファイルがデータベースエラーを原因しないようにします。
11. 「backup-data」の内容を展開された「/opt/NetApp/data」ディレクトリにコピーします。

「cp -arp/backup-data/\* /opt/NetApp/data/」と入力します

12. SE Linux が有効になっている場合は、次のコマンドを実行します。

```
chcon-R --type=mysql_d_b_t/opt/NetApp/data
```

13. MySQL サービスを開始します。

'systemctl は mysql' を起動します

14. MySQL サービスが開始されたら、ocie サービスと ocieau サービスを次の順序で開始します。

```
'systemctl start ocie ocieau
```

15. すべてのサービスが開始されたら 'バックアップ・フォルダ '/backup-data' を削除します

「rm -rf /backup-data」のように入力します

# Microsoft Windows サーバーの論理ドライブにスペースを追加する

Unified Manager データベースのディスクスペースを増やす必要がある場合は、Unified Manager がインストールされている論理ドライブに容量を追加できます。

開始する前に

Windows の管理者権限が必要です。

ディスクスペースを追加する前に Unified Manager データベースをバックアップすることを推奨します。

手順

1. ディスクスペースを追加する Windows サーバに管理者としてログインします。
2. スペースを追加する方法に応じて、該当する手順を実行します。

オプション	説明
物理サーバで、Unified Manager server がインストールされている論理ドライブに容量を追加する。	Microsoft の次のトピックの手順に従います。 <a href="#">"基本ボリュームを拡張します"</a>
物理サーバで、ハードディスクドライブを追加します。	Microsoft の次のトピックの手順に従います。 <a href="#">"ハードディスクドライブの追加"</a>
仮想マシンで、ディスクパーティションのサイズを拡張します。	VMware の次のトピックの手順に従います。 <a href="#">"ディスクパーティションのサイズを拡張する"</a>

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。